「大村総社」のかつ丼 初代グランプリに

豚肉料理の「T−1グランプリ」 決勝で6店の頂点

前橋

前橋市内の飲食店を対象とした豚肉料理コンテスト「T−1グランプリ」決勝戦の結果発表が28日、同市千代田町のイベント会場で行われ、そば処大村総社（総社町総社）の「おそば屋さんのソースかつ丼」が初代グランプリに輝いた。「TONTONのまち前橋」をキャッチフレーズに名物料理を作ろうと、市を挙げてのコンテスト。柴崎清一店長（39）は「驚きと喜びと感謝の気持ちでいっぱい。名誉に恥じないよう頑張りたい」と話していた。

県産のヒレ肉にそばつゆソース

柴崎店長によると、「おそば屋さんのソースかつ丼」はそばつゆをベースにした秘伝のソースが特徴。県産豚のヒレ肉に自家製パン粉をつけ後、サクサク感を出したり、肉汁を閉じ込めるため高温の油で揚げてからソースをくぐらせる。ご飯はわき水で炊くなどこだわりの一品だ。

コンテストは「よっこそまえばしを進める会」（曽我孝之会長）が主催。同市内の57店が参加し、昨年11月に覆面審査員が料理の味や盛り付け、接客態度、店の雰囲気を審査する予選を行い、上位6店が決勝戦に進出した。

決勝戦は1月16日から2月28日まで行われた。だれでも参加できる一般投票と大手旅行雑誌関係者3人による特別審査員の票による合計で決められ、投票総数は1261票。決勝戦期間中のエントリーメニューの総注文数は6店合計で700食だった。

表彰式で、高木政夫市長は「DC（デスティネーション・キャンペーン）を契機に本市の名物を売り出しTONTONのまちを盛り上げ、全国に発信したいとあいさつ。曽我会長は「お店の熱意と努力に敬意を払う。足を運んでくれた市民のみなさんに感謝したい」と述べた。

グランプリ以外の入賞は次の通り。

味の店ゆたかの「豚めし」、カフェ&ダイニングかざしの「上州麦豚の石焼きうま辛角煮」、ごはん一温玉のせ、クローバーレビキーズの「和豚もちぶた美肌しゃぶしゃぶ」、そばひろのソースかつ膳、まえばし人口一番の「麦豚なべぱん」

グランプリに決まり、表彰の盾を掲げる柴崎店長

新築の民家で開かれたミニコンサート

地域とともに

協働の現場から −207−

おんがく　ぐんま

生演奏の魅力 市民に

メモ　2003年にNPO法人化。事務所は高崎市昭和町。市民が気軽に音楽鑑賞を楽しめるようにミニコンサートを随時開催している。

春先の昼下がり。民家のリビングに、オーボエとハープの音色が優雅に響く。曲目は「星に願いを」。10人ほどがうっとりとした様子で生の演奏に耳を傾けている。高崎市内に拠点を置くNPO法人「おんがく　ぐんま」が企画・運営している市民向けミニコンサートの一幕だ。

市民芸術の発展を願い、群馬交響楽団の関係者らが組織を立ち上げた。ほぼ月1回のペースで同法人の事務所などを会場にコンサートを開催し、市民らにピアノや弦楽器、木管楽器などの生演奏を届けている。「1人でも多くの人に音楽の魅力を伝えたい」と目下の低い演奏会」を目的としているため、毎回なじみの曲を盛り込むよう調整している。料金は原則として無料だ。

今後はさらに幅広い層に音楽の魅力を伝えようと、絵本の読み聞かせとミニコンサートを組み合わせた親子向けのイベントも開催する。気軽に音楽に触れてもらい、徐々に本物の音楽を知ってもらう考え。

「極端な話、海外と比べて日本では『お金を払ってでもクラシック音楽には好評で、緊張と足を運ぶ人も多い。「コンサート後に『次はどこでやるの』と聞かれるのが一番うれしい」と目下の表情活動の手応えを感じている。

敬介代表は活動への思いを語る。

演奏者は会員の人脈をたどって手配する。プログラムはクラシックの重奏が中心となるが、誰でも気軽に楽しめる「敷居を聴きたい』という人はまだまだ多い。音楽を聴く人のすそ野をもっと広げる必要がある」と日下さん。

「音楽のまち」を掲げる同市を舞台に、「文化を変えるのは時間のかかることだが、少しずつ音楽の魅力を浸透させていきたい」と地道な活動を続けていくつもりだ。

広瀬川照らす

絹の布 ライト1300個を点灯

前橋

前橋市の広瀬川両岸を彩りの糸巻きを模したライトで彩る「光の街まえばしプロジェクト」（池下敦洋実行委員長）の点灯式が28日、同市の朔太郎橋で開かれ、約1300個のライトに光がともった＝写真。

プロジェクトは夜間の市中心部を光で演出し、より多くの人に足を運んでもらおうと2年前にスタート。市内の保育園児や児童が描いた絹の布をライトに巻き付け、広瀬川両岸約2キロにわたり取り付けた。

点灯式には高木政夫市長や児童ら50人が参加、スイッチが押されると、広瀬川両岸に一斉に光がともり、集まったたちから大きな歓声が上がっていた。

点灯は5月9日までの午後6時から午前0時。

記めーる者

伊勢崎駅の立ち食いそば

12課局27係に 新年度から明和町

明和町は新年度、13課局31係を12課局27係に再編する。行財政改革の一環で管理職を減らし、業務の効率化を図る。

機構改革では建設水道課を廃止、同課の建設部門を経済課と統合して経済建設課に、水道部門を環境課と合わせ環境水道課にする。経済建設課には、同町大輪の明和第三業団地への企業誘致を担当する金業誘致推進室を設置する。

総務課の財政部門と企画課を統合し、町総合計画の考案や予算編成を担う企画財政課を新設。町総務課は「関連のある業務が課を隔てて行われていた部分を見直し、トップマネジメントの強化を図りたい」としている。

伊勢崎駅の立ち食いそば店が、線路の高架化に伴う駅舎建て替えのため、36年間の歴史を閉じた。最終日となった今月25日は午後5時までの営業予定だったが、用意したそばうどん計500食が予定の30分ほどで完売。午後3時までに休まず営業した。「早い・安い・うまい」の三拍子がそろった店で、子供や学生、お年寄りまで多くの人たちに愛された。

最終日は客が次々と訪れ、行列ができるなどの大盛況。10年前からのファンという西田正平さん（55）＝伊勢崎市太田町＝は「新駅でも営業すると思っていたので閉店は残念。立ち食いそばは、忙しいサラリーマンにとって必須の食文化。洋風の店ばかりでは味気ない」と話し、最後の天ぷらそばをすすった。

調理担当の従業員、平野やよいさん（59）は「お客さんから『長い間世話になった』と言われ、涙が出るほどうれしかった。寒い日にお茶をくれる客もいた。その人たちにお礼を言えなかったのが心残り」と振り返った。

23年間、変わらぬ味のつゆを作り、めんとともに店に配達してきた根岸岳帝さん（57）も「明日から（この店に）来なくなると思うとさびしい」と語った。

同店によると、新駅に立ち食いそば店が入る予定はないという。小さな調理場があれば営業できるのに、なぜ残せないのだろうか。小さなそば店の最後を取材し、そう思わずにいられなかった。

（伊勢崎支局・紋谷貫史）

愛されつつ閉店「なぜ」

新「中之条町」が誕生

六合と合併、1000人祝う

中之条町と六合村が28日、合併し、人口約1万8860人、面積約440平方キロの新中之条町が誕生した。合併記念式典が同日、同町四中之条の吾妻郡文化会館で開かれ、出席者約千人が新しい中之条町の発展を誓った。

式典は上州中之条太鼓と六合八間太鼓の共演で開幕。入内島直隆町長が「効率を超越したきずなの合併で、中之条と六合は家族になる。六合の110年の歴史を踏まえ、新生中之条町として新たな歴史を刻んでいきたい」とあいさつした。

その後、中之条町民を中心に組織するダンスチーム「零戯」が登場。3歳から30代までの約50人が豪快なダンスで会場を盛り上げた。中之条中吹奏楽部が元気な演奏で式典に花を添え、「おめでとう！」のメッセージを掲げて新中之条町の誕生を祝福した。

祝福のメッセージを掲げる中之条中吹奏楽部

新登場！

南東北・上信越の旅を自由気ままに

週末は、列車の旅でリフレッシュ！

ウィークエンドパス

JR東日本

乗車券タイプのフリーパス

フリーエリア内普通列車（普通席・自由席）乗り放題

連続する土休日の2日間有効

ご利用開始日当日も購入可能※

楽しみ方いろいろ!!

別に特急券を購入いただくと、新幹線を含む特急列車にもご乗車いただけます。

特急券のお求めは、「えきねっと」＋指定席券売機で!!

えきねっと　会員登録無料

www.eki-net.com

「えきねっと」で新幹線指定席を予約して指定席券売機で受取ると、特急料金が割引に!!

■発売額　おとな8,500円　こども2,500円

■利用期間／2010年4月3日（土）〜9月12日（日）の土休日と、9月18日（土）〜20日（月・祝）および9月23日（木・祝）〜26日（日）の連続する2日間

※ただし、日曜日（7/18、9/19は除く）および4/29、5/1〜5、7/19、8/14、9/20が利用開始となる設定はありません。

■発売期間／2010年3月29日（月）〜9月25日（土）

※発売はご利用日の1カ月前からとなります。

JR東日本ホームページ　www.jreast.co.jp　おトクな新情報満載サイト「旅どきnet」　www.jreast.co.jp/tabidoki/

今現在の情報は2010年3月現在のものです。

好評発売中！

ダイヤモンド責任編集

もめない相続 買い増与

遺言書 特別パッケージ

これなら誰でもできる！遺言書キットの決定版!!

便利な書き込み式ツールセット

ダイヤモンド社　遺言書

定価1,900円(税込)

葬儀・寺・墓・相続

大事典

週刊ダイヤモンド

一家に一冊で安心！

「もしも」の時に理想の葬儀から墓影まで、あなたの「想い」を伝える エンディングノート 特別付録

『週刊ダイヤモンド』葬儀・寺・墓・相続特集を一冊にまとめた完全保存版！

週刊ダイヤモンド臨時増刊 4月29日号 定価990円(税込)

寺・墓編　フローチャート付き 正しいお墓の選び方

◆後を託すべきこどもがいない◆夫と一緒はイヤ◆両親の墓を移したい…こんな場合どうする？

葬儀編　知っておきたい価格のカラクリ

今どきの成仏の仕方

(ヒンシ)からキリまで　こうして決まる「墓石の値段」

戒名料っていったい何の値段？

相続編　いざという時あわてないための相続のイロハ

もう騙されない！怪しい見積もりの見抜き方

◆相続人は誰？◆税金はどのくらい？◆遺産をどうやって分ける？…ほか

そのやり方では無効になる！遺言書の正しい書き方

ダイヤモンド社　〒150-8409　東京都渋谷区神宮前6-12-17　www.diamond.co.jp/

この印刷物の文章・写真等の著作権は上毛新聞社が保持しています。無断転載、複製及び頒布は禁止します。